

(1)2つのタイプのグリーンコンシューマー

これからのグリーンコンシューマーには、二つのタイプがあるかもしれない。

一つは、堅実なライフスタイルを守り物を大事に扱い長く使うタイプであり、もう一つのタイプは、新しい環境保全型商品を積極的に購入し、ライフスタイルを新たに作っていくものである。

前者は、暮らしの中からの知恵を大切に、流行に流されて、次々に新しい消費財を購入することを抑制するので、いってみれば需要抑制型である。一方、後者は社会の流れの中で環境にやさしい商品を実確に見分けるとともに、自己充足をもたらす商品の購入を重視するタイプであり、このタイプは環境保全型消費の生産を生産者に促し、販売業者に環境配慮を要請するものである。

需要抑制型は、現在の競争的な市場経済システムにおいては歓迎されない消費者かもしれないが、堅実な消費にあわせて生産を促すという消費者主権の視点から見れば欠かせない。企業が一方的に生産能力を高めて、そのテンポに消費支出がついてこないために経済不況になるといって、消費の拡大を求める現在の経済成長のあり方を転換させるのもこのタイプの消費者であろう。

一方、自己充足をもたらす商品の購入を重視するタイプは、競争的な市場経済にも適応可能で、市場経済を環境保全型に変えていく力も持っているが、同時に企業の開発した環境保全型商品を大量に、また買換え頻度を速く購入しかねないという懸念も残る。

いずれにせよ、二つのタイプのグリーンコンシューマーがこれからの新しい消費者タイプを作っていくことになるだろう。

以上